

どう使われた？ 町の予算

毎年9月定例会では、前年度の決算について審査を行います。

令和6年9月9日から12日までの4日間にわたり、議長及び監査委員(議選)を除く、議員11人で構成される「決算審査特別委員会」で各会計の審査を行いました。

決算審査って何？

議会が行う決算審査は、議会が決定した町の予算が適正に使われたかどうかを審査するとともに、住民に代わり、どのような効果や成果があったのかを評価することです。

決算は「終わったこと」？

審査した結果を、町長は次年度以降の予算編成(事業計画)に生かし、議会はその予算審議や財政運営の指導に役立っています。「使った予算・終わった事業だから」と、ただ単に認定して終わりではありません。

決算は、町の財政運営の一層の健全化と適正化に役立っていると、将来に向けての前向きなものではなくてはなりません。



決算審査特別委員会の質疑から 一部抜粋

基金を運用する考えはあるか？

基金管理事務 2億9145万円

財政調整基金を運用して利益を上げる考えはあるか。

総務課長 (令和5年度は行っていないが) 令和6年度から始めている。証券会社に依頼し、福岡県の発行する県債を10年債7%で運用している。総額3億円を購入している。

区分	決算年度中増減高	決算年度末現在高
財政調整基金	103,754,000	2,700,401,000
減債基金	27,668,000	430,579,000
ふるさと応援基金	159,734,000	923,737,000
まち・ひと・しごと創生推進基金	0	0
公共施設等整備基金	300,000	706,872,000
水道水源保全基金	49,000	112,197,000
森林環境譲与税基金	4,055,000	10,897,000
自然教育林基金	7,000	11,161,000
公共下水道施設整備基金	△9,507,000	35,884,000
合計	286,060,000	4,931,728,000

電子母子手帳導入の見込みは？

母子保健事業 4618万円

住民サービスのための、電子母子手帳を導入しては。

健康増進課長 現状は情報収集に留まっている。須恵町に合う活用を調査中であり、将来的には導入すべきという認識である。

議員コメント

今村議員

電子母子手帳は、従来の母子手帳の内容をインターネット上で管理できるものです。紛失によるデータ消失が防げますし、予防接種のスケジュール管理・Eメール写真や育児日記の保存等便利です。早期導入の実現を期待します。



現在交付されている母子手帳

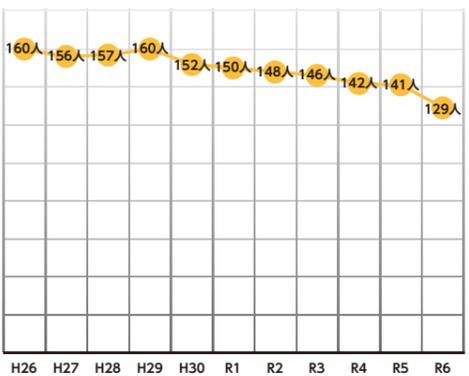
消防団員の確保は？

消防団活動事業 2648万円

減少傾向にある消防団員を、どう確保していくか。

総務課長 社会情勢や生活環境の変化により、若い人の消防団活動に対する理解がなかなか持てない現状がある。ボランティアではなく、ある程度の報酬も与えられるよう検討している。

須恵町消防団員数の推移



電子申請の導入は？

文化会館施設維持管理事業 8344万円

アザレアホールの利用に電子申請の導入はできないか。

社会教育課長 社会教育課が抱える10施設においては、申請者の来館を必要としており、住民サービスの視点から検討している。令和7年度の導入を目指している。

電子図書館は？

図書館施設維持管理事業 979万円

須恵町では、電子図書館導入はどのようになっているか。

社会教育課長 全国的にも福岡県の自治体は導入率が高く、中でも糟屋地区1市7町では本町以外は導入済みの現状である。後発の利点を生かして、分析検証しながら導入したい。

部活動地域移行の見通しは？

スポーツ推進事業 314万円

部活動地域移行はどのように進めていくのか。

社会教育課長 国から、部活動の地域移行改革推進期間が定められており、須恵町は、令和8年度に土日の完全移行を目指している。令和6年度の10月から部活動地域移行のモデル事業を立ち上げ、検証する。令和7年度は、同事業を拡大し、令和8年度につなげる。



進む、部活動の地域移行(モデル事業の剣道)

議員コメント



稲永議員

消防団の団員確保については、かねてからの懸念事項であり、出勤費を個人報酬にするなどの取り組みもなされていますが、社会的理解が進んでいない状況は否めません。消防団員になることで、メリットが得られるような施策が必要だと思います。

議員の解説
電子図書館とは
来館する事なくネット上で見られるサービスです。24時間365日利用できるメリットがあります。

議員コメント



男澤議員

モデル事業が陸上・太鼓・剣道で始まりました。次年度への移行が順調に進んでほしいです。